

2021年12月3日

各位

双日株式会社

双日、米国で省エネルギーサービス事業に参入
～ネットゼロ社会の実現に向けて多様化する顧客ニーズに対応～

双日株式会社は、双日米国会社を通じて、米国ペンシルベニア州の省エネルギーサービス事業者であるマクルーア社（McClure Company）の株式を新規取得の上で連結子会社とし、今後の大きな成長が見込まれる米国市場での省エネルギーサービス事業に初めて進出します。

省エネルギーサービスは ESCO（Energy Service Company）事業とよばれ、顧客の光熱費や維持費の削減・効率化に向け、空調や照明の交換などの補修プランを提案し、設計や機器調達、取り付け工事等のサービスを行います。この特性から ESCO 事業は、地球温暖化対策および CO₂排出量削減に寄与する事業であり、世界第二位の CO₂排出国である米国では今後ネットゼロに向けて取り組みが進められる中、双日はマクルーア社を通じて、さらに高まると予測される ESCO 事業需要への貢献を行います。

マクルーア社は、米国ペンシルベニア州を中心に 1953 年から事業を展開し、同州内の最大セグメントである学校・病院でトップシェアの実績を持ち、省エネ機器や空調設備に関する技術・提案力を強みとしております。米国は施設の老朽化が進んでいることによってエネルギー効率の低い設備が多く、結果として ESCO 事業への需要が高まっているとともに、今後 COVID-19 対策となる空調設備の導入需要も高まっていくことから、マクルーア社が持つ機能は様々な社会的課題に対してのソリューション提供を可能とします。

双日は、「中期経営計画 2023」の中で、電力・インフラ分野における周辺・サービス事業への領域の拡大、マーケットニーズや社会課題の解決を起点とした事業による企業価値向上の実現を目指しており、本件参画後はマクルーア社が持つ事業運営能力と双日が有する発電事業の開発・運営の知見・ノウハウを組み合わせ、既存事業の拡大、太陽光等の分散型発電の拡販を図ります。また、省エネ機器の導入のみならず、ファイナンス・メンテナンス・電力供給などを組み合わせ、顧客ごとのエネルギー消費に合わせたサービスを総合的に提供する形態である EaaS（Energy as a Service）事業展開にも取り組んで参ります。

(ご参考)

【McClure Company の会社概要】

会社名	McClure Company
設立年	1953 年
本社所在地	4101 North Sixth Street, Harrisburg PA 17110
代表者	Thomas “Chip” Brown
事業内容	ペンシルベニア州、メリーランド州で自治体/大学/学校/病院向け 中心の ESCO 事業
従業員数	約 400 人

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404